



## 熱中症予防啓発 事例集

平成28年度 消防庁作成



## 1. 消防庁のコンテンツの紹介と活用状況

消防庁では、今年度、熱中症予防啓発のコンテンツを3つ作成しました。

### (1) 予防啓発ビデオ

#### 予防啓発ビデオ

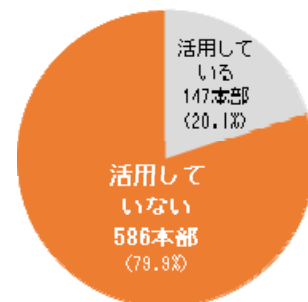
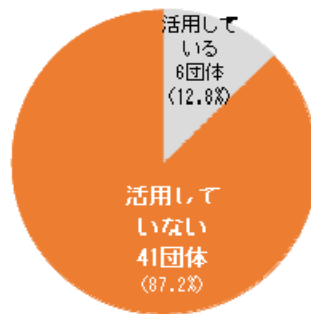
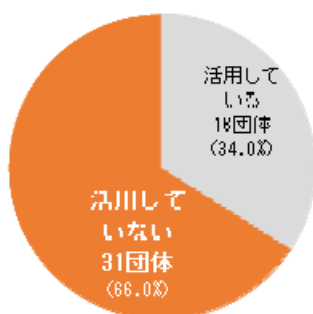
熱中症予防のポイント等を説明した動画を2種類（5分と15秒）作成しました。5分動画は、応急手当の講習や企業の研修等、15秒の動画はスポットCMやSNS等で御活用ください。また、住民の方にも広く見ていただけるよう各自治体のHPや広報紙等に掲載してご案内ください。



#### ・団体別の予防啓発ビデオの活用状況

都道府県消防防災主管部局（N=47） 都道府県衛生主管部局（N=47）

消防本部（N=733）



### (2) 予防啓発イラスト

#### 予防啓発イラスト

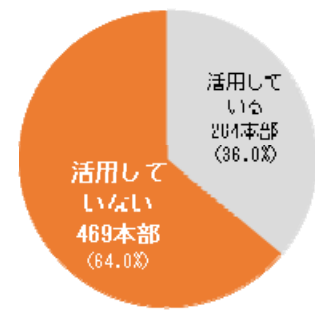
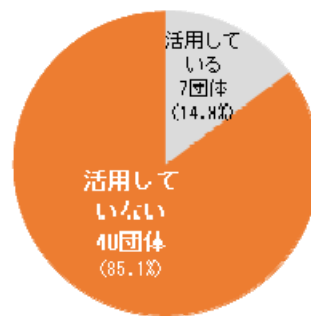
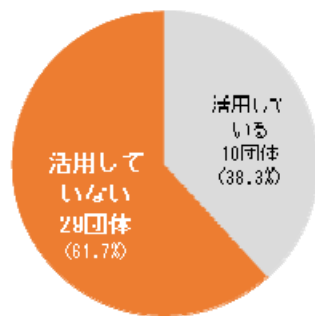
全国消防イメージキャラクターの「消太」を活用して熱中症予防を呼びかけるイラストを30点作成しました。各自治体が作成する予防啓発資料やSNS等で御活用ください。使用する際は、「全国消防イメージキャラクター「消太」活用マニュアル」にご留意ください。



## ・団体別の予防啓発イラストの活用状況

都道府県消防防災主管部局（N=47） 都道府県衛生主管部局（N=47）

消防本部（N=733）



## （３）予防広報メッセージ

### 予防広報メッセージ

暑い日や時間帯に効果的な広報ができるよう熱中症予防の広報メッセージのデータを４ヶ国語（日本語、英語、中国語、韓国語）で 20 例作成しました。高温注意情報が発表された日や気温が 30℃以上となっている時間帯、屋外イベントが開催されている地域など、消防車、救急車、消防団車両等で、巡回するときに御活用ください。

メッセージ例

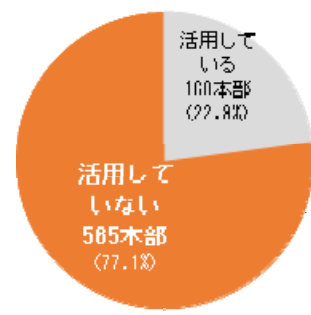
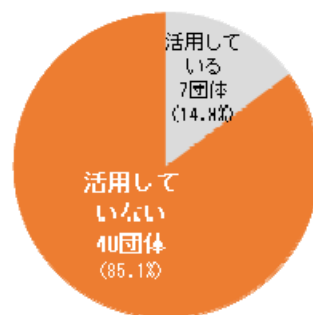
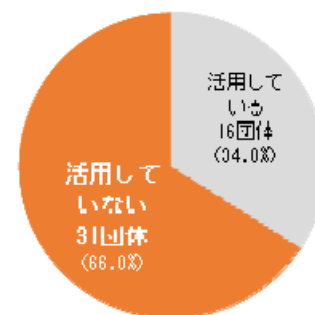
| メッセージ内容                                                                                                                | 日本語                           | 英語                            | 中国語                           | 韓国語                           |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| こちらは消防署です。7月は熱中症予防強化月間です。熱中症の予防には、「水分補給」が大切です！喉の乾きを感じる前に、こまめな水分補給を行いましょ！特に、高齢者の方は、暑さを感じにくく、室内でも熱中症になることもあるので十分注意しましょう！ | [通常]<br>▶ 視聴<br>▶ ダウンロード      | [通常]<br>▶ 視聴<br>▶ ダウンロード      | [通常]<br>▶ 視聴<br>▶ ダウンロード      | [通常]<br>▶ 視聴<br>▶ ダウンロード      |
|                                                                                                                        | [冒頭なしver]<br>▶ 視聴<br>▶ ダウンロード | [冒頭なしver]<br>▶ 視聴<br>▶ ダウンロード | [冒頭なしver]<br>▶ 視聴<br>▶ ダウンロード | [冒頭なしver]<br>▶ 視聴<br>▶ ダウンロード |

※冒頭なしverとは、全てのメッセージの冒頭についている「こちらは消防署です。」の一文がけいたいものです。消防署以外の方でも利用できる様に作成しました。

## ・団体別の予防広報メッセージの活用状況

都道府県消防防災主管部局（N=47） 都道府県衛生主管部局（N=47）

消防本部（N=733）



## 2. 消防本部の取組事例

ここでは熱中症予防に関する、消防庁で作成した3つのコンテンツを活用した事例のほか、県や消防本部が独自で行なっている取り組みについても紹介します。

### (1) 予防啓発動画（5分、15秒）

#### 1) 消防本部

##### ① 千葉市消防局（千葉県）

##### Facebook 上での動画掲載



##### 具体的内容

平成28年7月4日に当局のFacebookのページ (@chiba\_shobo) において、熱中症の注意喚起の文章と消防庁が作成した熱中症予防の動画（15秒）を掲載した。また、注意喚起の文章内には、消防庁が作成した「熱中症対策リーフレット」のURLも併せて掲載した。

##### 取り組みに至る経緯

熱中症の注意喚起を実施するに当たり、即時性があり、かつ情報が拡散されやすい方法を考慮した結果、Facebookを活用することとなった。

また、費用がかからない点も活用への大きな理由である。

##### コスト

0円

##### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

読み手により興味を持ってもらえるよう、見出しを工夫したり、写真や動画を多く取り入れたりしている。また、誰でも読みやすく易しい文に心がけている。

##### その他

|           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 平成29年1月現在 | フォロワー数   | 約2,500   |
|           | 本ページ閲覧数  | 約12,000回 |
|           | 熱中症動画再生数 | 約3,400回  |

##### 参考となるHPのリンク先等

[https://www.facebook.com/chiba\\_shobo](https://www.facebook.com/chiba_shobo)（当局 Facebook ページ）

## ② 豊田市消防本部（愛知県）

### 消防庁舎での熱中症ブースでの動画放映



#### 具体的内容

##### 1 展示コーナー

- (1) 熱中症の症状や予防のポイント
  - ・主な症状や効果的な応急手当について
- (2) 豊田市における熱中症救急搬送人員数
  - ・熱中症等の症状による救急搬送人員数の揭示
  - ・過去5年間の熱中症等の症状による救急搬送状況

##### 2 視聴コーナー 熱中症の基礎知識や予防法など

- ・消防庁が作成した「予防啓発ビデオ」の上映

#### 取り組みに至る経緯

7月1日から7月31日は、「熱中症予防強化月間」とされている。その期間にあわせて、熱中症の予防法等の広報を行うことで、熱中症についての理解を深めていただき、熱中症が未然に防がれることを目的として実施した。

#### コスト

0円

#### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

パネル等の展示だけでなく、映像を流すことで、より多くの人の興味を引くことができる。



### ③ 伊勢市消防本部（三重県）

#### 企業からの依頼の熱中症講話での放映



#### 具体的内容

熱中症についての基礎知識、県内における熱中症救急搬送件数、予防対策、応急処置、119番通報の仕方などについて、パワーポイント資料及び消防庁「予防啓発ビデオ5分」により講話を行った。

日時：平成28年7月11日（月） 19：00～20：00

場所：三重県建設労働組合伊勢支部第2会館

講師：伊勢市消防本部 消防課員1名

講習会参加者：20名

#### 取り組みに至る経緯

三重県建設労働組合伊勢支部から、例年作業中に熱中症疑いの症状が出る職員があるため、夏場を向かえて熱中症についての講習を実施してほしいとの依頼があったため。

#### コスト

0円

#### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

実際の救急現場や業務イベント時での傷病者の症状、救急対応などの経験を踏まえて講話を行うと、関心をもって聴講していただけました。

#### 参考となるHPのリンク先等

- ・環境省 熱中症環境保健マニュアル  
[http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke\\_manual.php](http://www.wbgt.env.go.jp/heatstroke_manual.php)
- ・日本体育協会 スポーツ活動中の熱中症ガイドブック  
<http://www.japan-sports.or.jp/medicine/tabid/523/Default.aspx>
- ・気象庁ホームページ  
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

④ 岡山市消防局（岡山県）  
市役所のデジタル掲示板で放映



**具体的内容**

岡山市役所本庁舎 1 階に設置してあるデジタル掲示板に、消防庁提供の「熱中症」予防啓発ビデオ（15 秒）を流し、市民へ熱中症予防の広報を実施した。期間は、平成 28 年 8 月 1 日から 9 月 31 日まで。

**取り組みに至る経緯（特に、巻き込み方）**

平成 28 年 6 月から、岡山市役所本庁舎 1 階エレベーター付近にデジタル掲示板が設置され、各部局へ放映コンテンツの募集があった。岡山市消防局では、消防庁提供の「熱中症」予防啓発ビデオ（15 秒）で応募し、8 月から放映に至ったもの。

**コスト**

0 円

※岡山市消防局での費用負担はないが、デジタル掲示板の担当部局は外部委託をしており、運用に費用はかかっている。

**他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス**

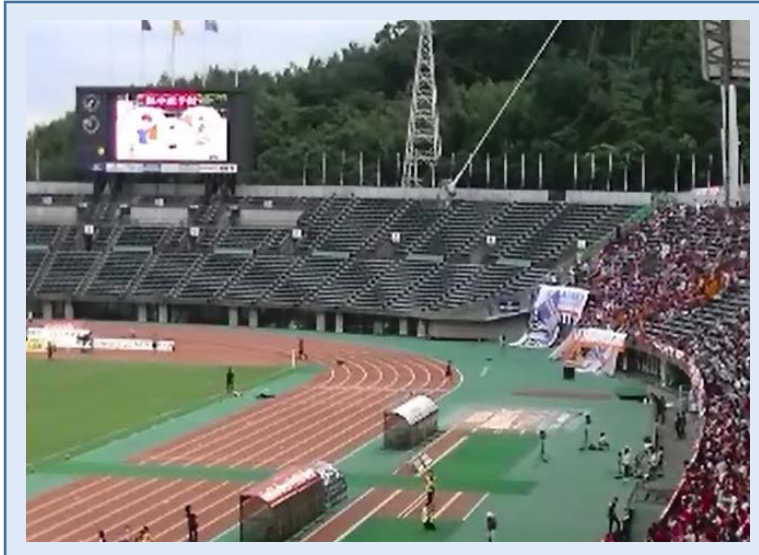
動画での広報は、人の目を引き市民へ伝えたいことをアピールしやすい。その反面、自前で動画を作成するのは難しく、技術や費用を必要とする。今回初めての試みであったが、消防庁が作成した動画を使用させてもらったことで費用を掛けず、効果的な広報ができたと考える。

**参考となる HP のリンク先等**

総務省消防庁>救急救助>熱中症情報

[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_2.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html)

⑤ 熊本市消防局（熊本県）  
サッカーJ2 ロアッソホームゲーム  
オーロラビジョンへ掲示



**具体的内容**

サッカーJ2 ロアッソ熊本のホームゲームにおいて、総務省消防庁熱中症予防啓発動画 15 秒バージョンを活用し、平成 28 年 8 月 7 日以降の試合でハーフタイム等の時間を利用し、熱中症予防広報を行った。

**取り組みに至る経緯**

サッカーJ2 ロアッソ熊本の運営を行っているアスリートクラブ熊本は、「日本一地域に根ざしたクラブ作り」を掲げており、熊本市消防局にあっても社員、選手及び関係者への応急手当の講習や、救急の日、火災予防運動において、ホームゲームでの広報（車両展示、AED 紹介、オーロラビジョン掲出）等の共催を行っている。このたび、総務省消防庁の取組みを受け、オーロラビジョンへの掲出を申し出たところ、クラブでも観客等の熱中症対策を講じており、ぜひ掲出したいという回答であった。

消防局では、総務省消防庁の承諾を得て、15 秒の動画に、観客の注意を向けるための効果音を入れたオープニング並びに消防庁 HP の紹介画像と総務消防庁、アスリートクラブ、熊本市消防局連名のエンドロールを加えた動画を掲示していただくこととなった。

**コスト**

0 円

**他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス**

熱中症の予防については、スポーツ関連団体等においても検討している機関も散見され、活用できるコンテンツがあれば利用したいという団体も潜在していると思われる。また、こうしたコンテンツの相互共有利用は、応急手当のみならず消防広報の発展的な展開につながる可能性があると考えられる。



## 2) 都道府県

### ① 静岡県（消防保安課）

#### SNS（Twitter や Facebook）に動画貼り付け



#### 具体的内容

県防災部局等で運営する Twitter 及び Facebook（アカウント名：静岡県防災）に消防庁提供の動画（15 秒字幕あり）をアップし、熱中症予防を呼びかけた。

#### 取り組みに至る経緯

28 年度から県防災部局による Twitter 及び Facebook の運営が始まった。県民に広く熱中症予防を呼びかけるため SNS の活用を検討していたところ、消防庁より動画の提供があったため、動画は SNS の中でも目を引きやすいことから、絶好の機会と捉え活用させていただいた。

#### コスト

0 円

#### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

急に暑くなる、その日に注意してもらうため、午前中に投稿した。

#### 参考となる HP のリンク先等

静岡県防災 Twitter アカウント：[https://twitter.com/shizuoka\\_bousai](https://twitter.com/shizuoka_bousai)

静岡県防災 Facebook ページ：<https://www.facebook.com/shizuoka.bousai>

## ② 佐賀県（健康増進課）

### 県庁 HP にコンテンツのリンクを掲載

- ・都道府県別の暑さ指数の予測値・実況値
- ・熱中症予防に関する普及啓発資料（熱中症環境保健マニュアル、リーフレット等）
- ・[熱中症声かけプロジェクト](#) [（外部リンク）](#)

○ [熱中症について学べる動画（トーク番組形式、講義形式）](#) [（外部リンク）](#)

#### 2 総務省 消防庁 熱中症情報 [（外部リンク）](#)

（掲載されている情報の例）

- ・都道府県別熱中症傷病者搬送人員数等
- ・熱中症予防啓発資料（イラスト資材、リーフレット等）

○ [熱中症予防の啓発動画](#) [（外部リンク）](#)

#### 具体的内容

平成 28 年度については、5 月中旬から 10 月初旬までの間に、当県のホームページにおいて、県内各消防本部から報告された熱中症疑い救急搬送患者数や環境省熱中症予防情報サイトから得られた県内暑さ指数（予測値）、熱中症の予防・対処方法等について情報提供を行った。この中で、関連情報サイトとして、消防庁の「熱中症予防の啓発動画」を掲載している。

#### 取り組みに至る経緯

当県では、健康危機管理の観点から、佐賀県健康危機管理連絡調整会議（熱中症対応）を開催し、本庁内の関係各課（危機管理部局、衛生部局、教育部局等）と連携し、より多くの県民の熱中症予防に対する意識の向上と発生予防のため、情報提供や注意喚起等を行っている。

その中で、消防防災課から、消防庁の「熱中症予防の啓発動画」の利用に関して情報提供があり、県民に熱中症対策を広く啓発することを目的として、県ホームページへの当該コンテンツのリンクを掲載した。

#### コスト

0 円

## (2) 予防啓発イラスト

### 1) 消防本部

#### ① つがる市消防本部（青森県）

##### 消防本部ホームページで熱中症予防啓発

### 熱中症を予防しよう！！

暑い日が続いておりますが、市民の皆様は熱中症予防はしていますか？熱中症は屋外だけでなく屋内でも症状が表れます。下記リンク内「熱中症予防啓発動画」を参考に、こまめな水分補給、暑さを避ける、暑さに負けない体力をつける、の3つに注意して熱中症を予防し暑い夏を乗り切りましょう！  
熱中症についての詳しい情報は、下記のリンクへアクセスしてください。

消防庁 HP「熱中症情報」 [http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_2.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html)



#### 具体的内容

消防本部ホームページへの熱中症予防啓発について掲示した。

#### 取り組みに至る経緯

当消防本部管轄内の熱中症での搬送件数は非常に少ないものの、熱中症の危険性をより多くの市民に伝えるため、ホームページへの掲載を実施した。

#### コスト

0円

#### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

早い時期（6月頃）からのホームページや広報誌への掲載が効果的と考える。

## ② 淡路広域消防事務組合（兵庫県）

### ぬり絵イラストを広報用ティッシュのデザインとして使用



#### 具体的内容

救急医療週間広報で配付するポケットティッシュへの熱中症予防イラストの使用。ただし、配付時期が9月であるため、内容を「熱中症」に限定せず「ケガや病気」へと改めている。

#### 取り組みに至る経緯

当消防本部では、以前から救急医療週間の際には医師会の協力を得て、広報活動用ポケットティッシュを作成している。費用面からポケットティッシュ以上に高額な物の導入は困難であることから、付加価値を高める方法を検討し、同イラストを活用した。受け渡しに家族を経由することで、広報効果を高めることを目的とした。

#### コスト

0円

ポケットティッシュの作成費用のみが発生し、その全てを医師会が負担。

#### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

医師会との協力体制については、ポケットティッシュには医師会名を入れ、医師会と合同での広報活動としている。当地域には3つの医師会があり、それぞれ同様の対応をして頂いている。

#### 参考となるHPのリンク先等

（参考：消防庁「消太ぬり絵」）

[http://www.fdma.go.jp/concern/syota\\_guideline/syota\\_nurie.html](http://www.fdma.go.jp/concern/syota_guideline/syota_nurie.html)（）

③ 須坂市消防本部（長野県）  
車両へのマグネットシート貼り付け



**具体的内容**

熱中症予防啓発のマグネットを作成し、車両に貼り付け広報

**取り組みに至る経緯**

熱中症注意喚起広報のためデザインを選定していたところ、文字のみの掲示では周知されにくいと考え、消防庁画像データを探していた。インパクトがあり、目に留まるデザインであったため、市販のマグネットシートを購入し画像データを印刷。救急車の前後に貼り広報したもの。

**コスト**

イニシャルコスト： シート代（3枚入り） 約1,600（円）

**他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス**

屋外用（保護フィルム付き）のマグネットシートを使用する。



④ 川崎市消防局（神奈川県）  
商業施設の広報用ビジョンで放映



**具体的内容**

夏期に開催した防災関連イベントを利用し、広報用ビジョンで熱中症広報画像（パワーポイントで作成）を放映したもの。

**取り組みに至る経緯**

当市危機管理担当部局が企画運営する防災関連イベントへの協力依頼を受け、開催場所である商業施設に設置された広報用ビジョンの使用を打診したところ、商業施設のご厚意により使用が可能となり熱中症広報画像を放映したもの。

**コスト**

0円

**他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス**

多数の来客が見込める場所に設置されている商業施設の広報用ビジョンを利用することで、効果的な広報ができることを肌で感じた。今回は厚意により使用させていただいたが、公設の広報媒体を利用するだけでなく、商業施設の広報用ビジョンについても予算化を視野に入れ積極的に利用することで、効果的な広報活動につながると考える。

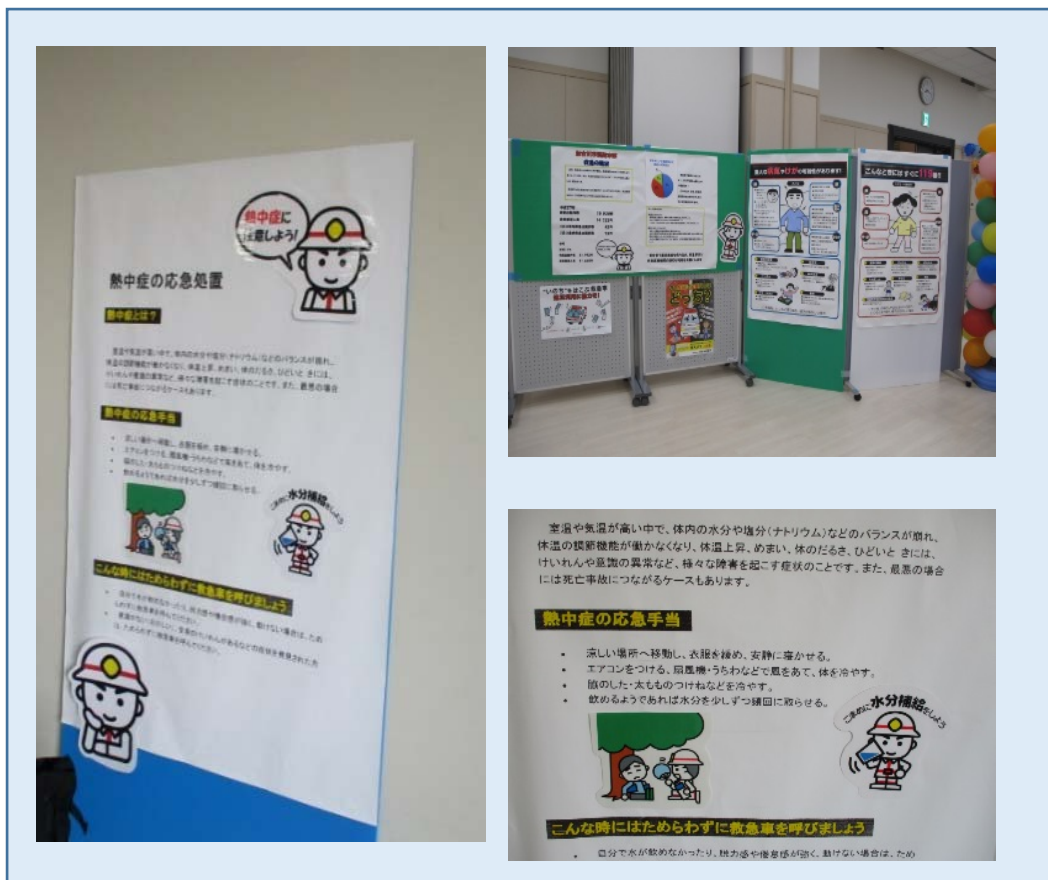
**参考となるHPのリンク先等**

総務省消防庁広報素材を使用。

[http://www.fdma.go.jp/concern/syota\\_guideline/syota\\_heatstroke.jpeg.html](http://www.fdma.go.jp/concern/syota_guideline/syota_heatstroke.jpeg.html)

## ⑤ 加古川市消防本部（兵庫県）

### 救急フェアの展示物に使用



#### 具体的内容

平成 28 年 9 月 4 日に救急医療週間の行事として「救急フェア」を開催した。救急フェアでは、救急統計、CPR、応急処置等の展示パネルに加え、熱中症予防啓発としてパネル展示及びリーフレットの配布を実施した。

#### 取り組みに至る経緯

熱中症の症状は一樣ではなく、症状が重くなると生命への危険が及ぶが、適切な予防法を知っていれば、発症を防ぐことができるものであることから、予防法を解りやすく広く市民に周知することは、市民のために有益であると同時に、救急需要対策にも効果があると考えたため。

#### コスト

0 円

#### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

総務省消防庁の熱中症予防のリーフレットを拡大印刷しパネル展示を実施したが、来場者の興味を引くために、会場内には風船等を活用した装飾を施した。

#### 参考となる HP のリンク先等

加古川市ホームページ内「救急フェアを開催しました」

<http://www.city.kakogawa.lg.jp/>

### (3) 予防広報メッセージ

#### 1) 消防本部

##### ① 知多市消防本部（愛知県）

##### 救急出動の帰路にマイクで広報



##### 具体的内容

スマートフォンに総務省消防庁のホームページ内にある、熱中症の予防広報メッセージをダウンロードする。救急出動時の帰路にそのスマートフォンを利用して予防広報メッセージを再生。メッセージを救急車のマイクでひろい住民に対して広報を行った。

##### 取り組みに至る経緯

限られた人員、コスト、車両及び設備で最も効率よくそして効果的に広報するためのやり方を消防職員自らが考えた結果、この方法を実施するに至った。

##### コスト

0円

##### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

- 1 実施する時間は住民が起きていて迷惑にならない午前9時頃～17時頃まで実施。
- 2 マイクでの広報は車のスピードが速いと聞き取りにくいいため徐行しながら実施。
- 3 住宅密集地での実施は控えた。
- 4 救急車のマイクを利用することは注目を浴びるが、緊急走行等と勘違いして車を停めて道を譲られたことがあった。

##### 参考となるHPのリンク先等

知多市の熱中症や生活習慣病等について

<https://www.city.chita.lg.jp/docs/2016070300023/>

総務省消防庁 熱中症情報

[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_2.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html)

② 深谷市消防本部（埼玉県）  
消防車両等による管内の巡回広報



**具体的内容**

気温35度以上となる高温注意情報が発表された時に、各署・各分署の消防車等で熱中症予防を呼びかける管内の巡回広報を実施している。

**取り組みに至る経緯**

深谷市では、熱中症予防の一環として『熱中症予防対策本部』を立ち上げて各部・各課で検討した結果、深谷市消防本部として市民への呼びかけ（消防車等での巡回広報、消防訓練や救命講習時に呼びかけや広報チラシの配布）を実施することにした。

**コスト**

0円

**他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス**

深谷市消防本部の取り組みとして、消防車両等を使用しての巡回広報を実施するにあたり、実施時の気温を35度以上に設定し、市内全体をより広く広報活動が実施できるように、全署々で管轄を巡回している。また、災害出場を考慮して、それぞれの所属の巡回広報時間をずらして実施している。



## (4) 独自の取り組み

### 1) 消防本部

#### ① 相馬地方広域消防本部（福島県）

##### 熱中症予防に区内防災無線定時放送で広報



#### 具体的内容

住民及び復興作業員の熱中症発生を予防するために南相馬市小高区役所の防災無線を活用し、主に小高区内で活動している救急ボランティア E. S. P. Odaka 会員により肉声広報をレコーディングし 7 月から 9 月までの猛暑期間に毎朝放送した。

#### 取り組みに至る経緯

南相馬市小高区は、平成 28 年 7 月 12 日に避難指示解除準備区域が解除され住民帰還に向け市民が自宅の帰宅準備を行うことが見込まれた。また震災及び原発事故後は、除染や家屋解体など復興作業員も多数作業に従事している現状です。前年の救急事案では、震災後に救急件数が減少した中でも、熱中症に関係する救急搬送の割合が増加している。

市の防災無線は、受信機が全戸配布、また屋外スピーカーも区内各所に設置されており、これを活用することで住民及び復興作業員に有効に広報活動ができると考えた。また、レコーディングは地元住民を主体に活動している救急ボランティアに依頼し、住民の耳に留まりやすいことと、女性の優しい音声を受け入れられると考えた。このボランティア団体は消防と普段から救命講習などでも連携している。

防災担当者の市職員に説明し、設備の活用が可能か、デジタル音声ではなくボランティア団体の肉声で放送を行うことに問題はないか、広報実施期間について協議し理解を得て実施した。

#### コスト

0 円

#### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

毎朝放送することからマンネリ防止のため、子供の熱中症、高齢者の熱中症、屋内での熱中症を予防する 3 パターンの原稿を作成した。関係機関との協力が不可欠であり、市防災担当者、ボランティア団体、消防機関が普段から顔の見える関係を築くことが大切である。



② 宮崎市消防局（宮崎県）  
イベント開催時に広報



**具体的内容**

救急フェア開催時に宮崎市保健所と合同で熱中症の予防啓発を実施。

**取り組みに至る経緯**

救急フェアにおいて、市民への心肺蘇生法の普及啓発を行う中で、増加する熱中症への  
予防啓発も同時に行うことが効果的であるため。

**コスト**

0円

## 郵便局の出す地域住民向け暑中見舞いで広報



## 取り組みに至る経緯

熱中症予防対策については、消防庁等からの各種施策に基づいた事業展開をしているが、毎年尊い命を失っている現状の中、郵便局から打診を受け、ゼロ予算の中で効果のあるものと判断し本事業を実施した。不作為に拾われた住民の皆さんへの熱中症予防対策として、併せてはがきに協賛企業名が掲載されていることで、企業の宣伝効果もあり、官民一体となった地域の活性化へ繋がればと効果を期待する。

コスト

0円

#### ④ 十日町地域消防本部（新潟県）

##### コミュニティ FM での広報



##### **具体的内容**

十日町地域消防本部では、地元ラジオ局（エフエムとおかまち）に職員が出向、毎週火曜日 9 時 20 分から「ダイヤル 119」という番組に出演している（出演時間は 5 分から 7 分程度）。そこでは、各種災害統計や火災予防をはじめとする消防業務全般を広報しており、パーソナリティとのトーク内容はその時季に合わせて職員が決めている。熱中症が予想される時季には、予防・対処法などを市民へ呼びかけている。

##### **【エフエムとおかまち】**

平成 18 年に開局して以来、地域への情報発信力は絶大なものがあり、また十日町市全域での受信強化策として、中継局の設置並びに住宅各戸及び主な事業所への防災ラジオ（地震予知放送・防災情報が自動的に流れ、常時充電で持出し可能なラジオ）の配付が行われたことで、地域防災情報発信の要となっている。

##### **取組みに至る経緯**

地元ラジオ局側から、災害時における情報共有を円滑に行うため、関係機関と日頃から様々な形で協力体制、コミュニケーションを築いていくことを目的に、消防と警察に当企画の依頼があった（警察は毎週月曜日「ダイヤル 110」）。「ダイヤル 119」は、平成 27 年 10 月から開始され、現在も継続中（終了時期未定）。

##### **コスト**

0 円

##### **他の消防本部が同様の取組みを行う際のアドバイス**

「ダイヤル 119」放送までの流れは次のとおり。出演職員については総務課が選出する→出演者には事前に社内メールで通知（ひと月に出演する職員 4～5 人へ）→出演者は出演日 1 週間前に原稿を作成して総務課に提出→総務課が内容を精査→修正された原稿を出演者に返信し、放送に臨む。この番組は、放送開始から 1 年間を試験運用とし、メリット、デメリットを評価した上で現在に至る。メリットとして、「災害時に円滑な情報連携を行うための、ラジオ局との顔の見える関係の構築ができる」「時季に応じて伝えたいこと・注意喚起などを毎週伝えることができる」「若手から中堅職員のコミュニケーション力育成」などがある。デメリットとして、「生出演であり、出演者が緊張などによる負担を感じる」「パーソナリティとのかけ合いもあり、失言等のリスクがある」などがあり、現在の流れとなった。

## ⑤ 西入間広域消防組合（埼玉県）

郵便局の協力によりハガキで啓発

郵便はがき

鳩山町内に  
お住まいの皆様へ

**西入間広域消防組合から大切なお知らせです。**  
このはがきは、西入間広域消防組合管内の下記の事業所の協力を得て、西入間広域消防組合と郵便局がお届けします。

|  |  |
|--|--|
|  |  |
|  |  |

**西入間広域消防組合**  
049-295-0119  
救急相談ダイヤル専用電話番号 24時間対応  
049-295-9987(きゅうきゅうはなして)

〒□□□□□□ このはがきは一部古紙を使用しているため、黒点等が見える場合があります。  
当せん日 9月1日 / 賞品お渡し開始 26年9月2日～27年3月2日 / くじ番号を切り取らずに郵便局へお持ちください。

000組      平成26年 2014      000000

**熱中症にご注意を!!**  
こんな日は注意!!  
・気温が高い・湿度が高い  
・風が弱い・日差しが強い  
**熱中症は予防が大事です!!**

①こまめな水分補給②扇風機・エアコンの使用  
③十分な睡眠と食事④通気性の良い服装  
高齢者は脱水症になりやすく、自覚症状が少ないため予防が重要です!

**もしも熱中症になったら...**

①涼しい場所へ避難させる  
②水分・塩分を補給させる  
③衣類を脱がせて体を冷やす

**「意識がない」「呼びかけに反応しない」  
そんなときはすぐに119番通報を!**

救急車を呼ぶ? 迷ったら救急相談ダイヤルをご利用ください。  
救急相談ダイヤル専用電話番号 24時間対応  
049-295-9987(きゅうきゅうはなして)

### 具体的内容

熱中症の未然防止と緊急時の速やかな対処方法や救急相談ダイヤルを周知するため。

### 取り組みに至る経緯

郵便局と共に、当消防組合もハガキの企画をする。

### コスト

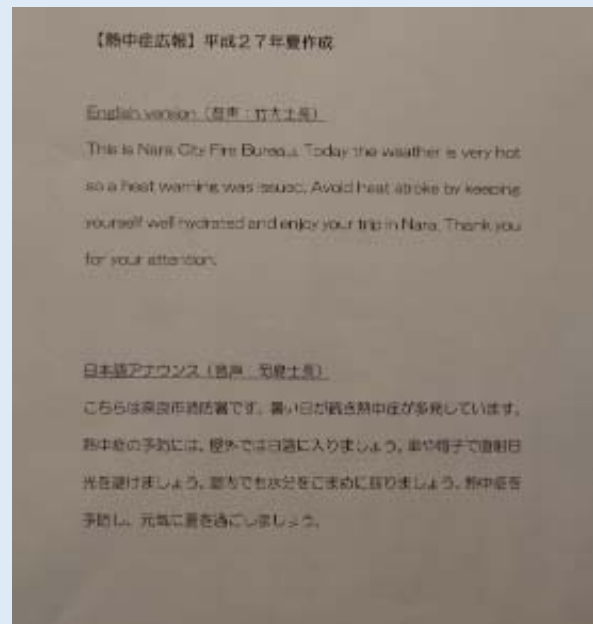
0円

### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

ハガキを見ていただける方々に、分かりやすく簡潔に伝えていくこと。

## ⑥ 奈良市消防局（奈良県）

### 独自作成の英語版広報音声を署外業務中の消防車にて広報



#### 具体的内容

消防局で作成した熱中症広報テープの内容を基にして、職員の通う英会話教室の講師に英訳を依頼。女性職員2名により英語版・日本語版を交互にテープへ録音し各署へ配布した。特に外国人観光客の多い観光地での熱中症広報として、署外業務中の消防車から英語でも呼びかけた。

#### 取り組みに至る経緯

熱中症広報から戻ってきた職員が「外国人観光客には日本語の熱中症の広報なんて伝わらない」と話しているのを聞いた女性職員からのアイデア。英語が話せる職員に連絡し、英会話講師に協力を得て英訳をした。熱中症対策の一環として職員2名により録音し、完成させたテープを配布した。広報の最後には「Have a safe trip in NARA!」と入れ、親しみやすさをアピールした。

#### コスト

2000円 →テープ代金

#### 他の消防本部が同様の取り組みを行う際のアドバイス

日本語の広報する場合はゆっくりとしたスピードでないと聞き取りづらいが、英語になるとゆっくり話すことで逆に聞き取りにくくなると感じたため、どのスピードで話すのがいいのかを検討し数回録音し直した。決して流暢な英語ではないが、職員の心のこもった熱中症広報になったと感じている。実際に広報を流していると、理解しているのかどうかは別として、多くの外国人が消防車両に注目している様子が見られたと聞いている。



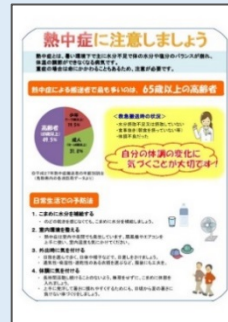
## 2) 都道府県

### ① 鳥取県（消防防災課）

#### 熱中症広報の様々な取組



オリジナルマグネットシート



(表) 熱中症予防啓発チラシ (裏)



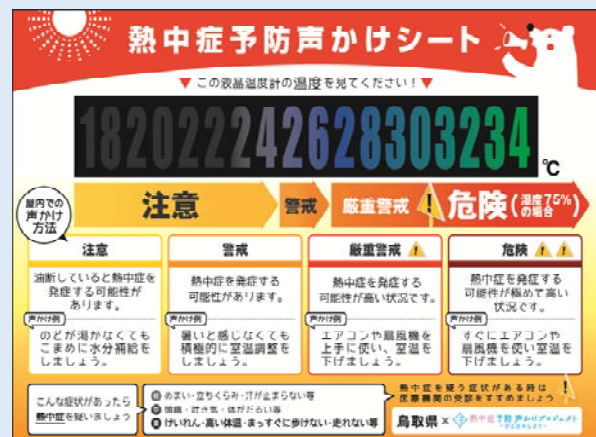
うちわ (鳥取県教育委員会作成)



新聞広告



のぼり



熱中症予防声かけシート

### 具体的内容

＜鳥取県の関係各課にて実施した内容＞

- ①オリジナルマグネットシートを作成し、ご高齢者へ民生委員の見回り時にチラシと併せて配布  
(具体的な声かけ方法のチラシを作成し、シートの使い方とともに説明会を実施後配布・活用)
- ②各種媒体を利用した広報活動
  - ・民放TVへのマンガによるCM放送(7～8月放送)、ラジオスポットによる放送
  - ・ケーブルテレビの農業番組で熱中症予防テーマで農作業時の熱中症予防について説明
  - ・新聞広告で啓発(7～8月毎月1回ずつ掲載)、県政たより掲載
  - ・電光掲示板による情報発信
  - ・高校総体(熱中症予防うちわ作成配布)、のぼりを啓示
  - ・鳥取砂丘スナホ・ゲーム解放区宣言 鳥取砂丘でポケモンGOを楽しんでもらうための掟に熱中症予防を入れ、啓発を行った
- ③熱中症警報(特別警報)による高温注意情報等の情報提供
  - ・熱中症警報(予想気温30℃以上)・特別警報(予想気温35度以上)・警戒週間(向こう1週間予想最高気温が30℃を超える日が5日以上予測される日)をあんしんトリピーメールにて配信・県ホームページに掲載

### 取り組みに至る経緯

平成22年、24年に熱中症の発生率が全国ワースト1位になり、県内発生の予防啓発のため上記の取組を実施している。

### コスト

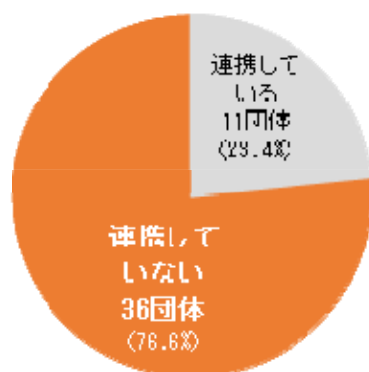
116千円

### 3. 連携他機関の状況

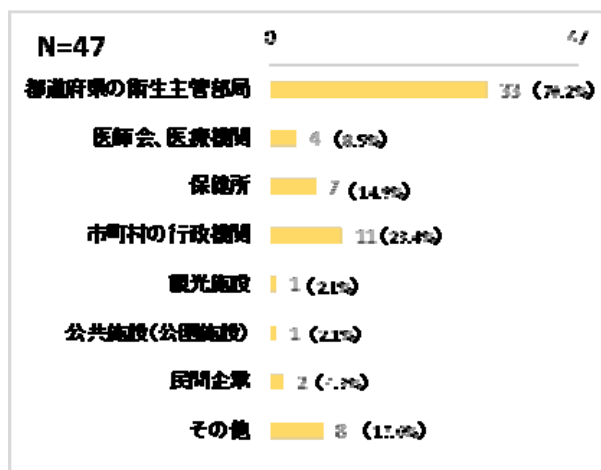
熱中症の予防啓発に取り組む上で連携している他機関の有無を調査しました。

#### (1) 都道府県消防防災主管部局 (N=47)

##### ・連携の有無



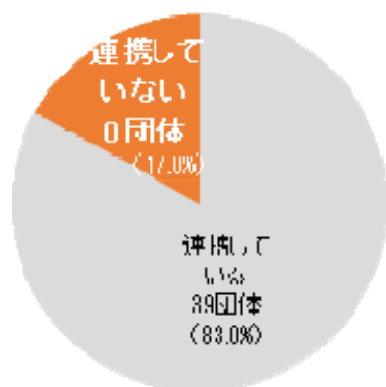
##### ・連携している機関



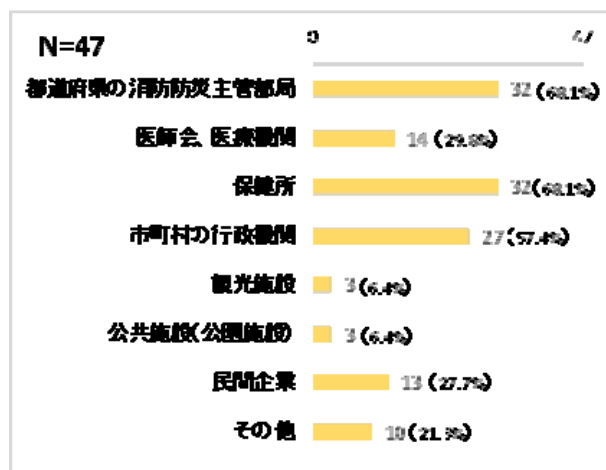
※その他  
県教育委員会、報道各社、民生委員、児童委員、消防本部など

#### (2) 都道府県衛生主管部局 (N=47)

##### ・連携の有無



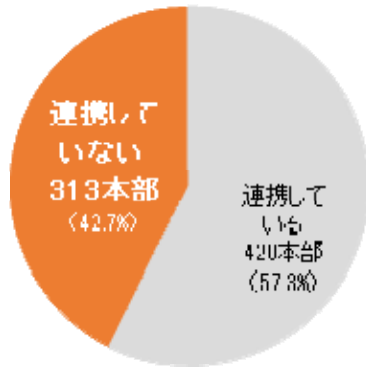
##### ・連携している機関



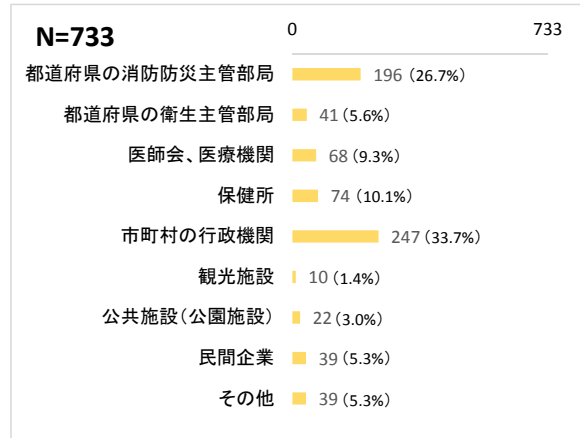
※その他  
県栄養士会、県食生活改善推進委員協議会、県労働局、県保育体育課、県観光振興課、地方気象台、商工会議所、健保組合など

### (3) 消防本部 (N=733)

#### ・連携の有無



#### ・連携している機関



#### ※その他

地元FM局・ケーブルテレビ、新聞社、救急ボランティア団体、郵便局、社会福祉協議会、民生委員、熱中症予防声かけプロジェクトなど

## 4. まとめ

毎年、全国で4万人以上の方が熱中症により救急搬送されており、夏期の救急業務の円滑な推進のためには、熱中症予防の啓発活動を積極的に取り組んでいく必要があります。

今年、消防庁が行ったアンケート調査によると、多くの団体が関係機関と連携し、様々な工夫を凝らし、住民に対して予防啓発を行っていることが分かりました。また、消防庁が作成したコンテンツ（動画、イラスト、広報メッセージ）も様々な場面で活用されていることが分かりました。

熱中症は正しい知識を身につけ、適切に予防することで、未然に防ぐことが可能です。各団体におかれましては、本事例集を参考にいただき、地域の関係機関との連携により、積極的に熱中症の予防啓発の取り組みを行っていただくことを期待します。

#### 【参考】

消防庁 HP「熱中症情報」

[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_2.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html)